

# みらい

Vol. 9  
2006. 1

病むを癒やすに医の東西なし  
～映寿会設立趣旨より～

身体が大切なサインを知らせてくれます  
『がんの症状』

病気になったら寝たきり防止のリハビリを  
『リハビリのお話』

もっと身近に東洋医学  
『漢方薬は速効性？遅効性？』

婦人科（女性外来）を開設いたしました  
『女性と病気』

院内散歩 リハビリテーション部

## TOPICS&NEWS

糖尿病教室予定

金沢お年寄り介護相談センター

たいよう・映寿会からのお知らせ



### スイートバイオレット

- 科名 スミレ科
- 原産地 ヨーロッパ、西アジア
- 草丈 約10～15cm
- 使える部分 葉、花
- 用途 砂糖漬け、サラダ、お菓子、ティー

甘い香りを漂わせる、可憐な花として知られるハーブです。花と葉のティーはいららを和らげて心を落ち着かせてくれるので、頭痛や不眠症、二日酔いにお勧め。口内炎や風邪のひきははじめにも効果があり、ティーをうがいに使えば、咳や痰を抑えてくれます。

# 病むを癒やすに医の東西なし

映寿会みらい病院

北元 喜洋 副理事長

映寿会みらい病院は患者ニーズの多様化に伴い、また次代に対応できる施設となるべくH15年に3カ年計画を立て、数々の改革を行いました。

同時に、医療の質の向上のため最新医療機器の導入、患者サービスの向上のための設備改修を行ってきました。

H15年9月には、患者さんと患者さんの家族、地域の皆様の明るい“みらい”をみつめていくことを目的に病院名を「映寿会みらい病院」に変更しました。また、増築棟を竣工し、療養病床がプライバシーとスペースを考慮した病室となりました。

H15年12月に、癒しの空間・プライバシーの確保をテーマに外来棟改修を行い診察室、サロン・メイキッスなど全面リニューアルを実施しました。

H16年1月から、日本医療機能評価機構の認定病院取得を目標としたプロジェクトを実施。同プロジェクトは「医療の質」、「医療安全」、「患者サービス」、「医療経営」などを総合的に評価するシステムであり、院内の専門委員会の立ち上げ、各部門でのマニュアル整備、診療録管理室の設置、患者用浴室の改修などの改善を行い、

5月の訪問審査を経て、平成17年2月県内24番目の認定施設となりました。

H16年4月には、前金沢大学がん研究所腫瘍外科教授の磨伊正義先生をセンター長にお迎えして、最新の内視鏡設備を整えた内視鏡センターを開設いたしました。

H17年11月から、医薬分業を目的として院外処方箋全面発行を行っています。

この、3年間に様々な改革を行ってきましたが、“改革を行うときこそ原点に返れ”という言葉があります。我々は、約25年前の開院設立趣旨である“病むを癒やすに医の東西なし”という原点に立ち返り、今年、劉園英（りゅうえんえい）先生をセンター長に迎え、リラクゼーションサロン「CARE」（カラ）を開業する予定です。この施設では、病気とまではいなくても心と体調の不調を抱えて悩んでいる女性の皆さんに、東洋医学の知恵を利用して、力強く生きる勇気を見つけてもらいたいと思っています。

現代の3年間は以前の10年間分だといわれています。これから3年間も我々グループの理念である「人が心身ともに健康で楽しく長生きできるように手助けをする」を実現する為に、走り続けていきたいと思えます。

## ～映寿会みらい病院のこれまでの3年間のあゆみ～

- H15. 9 “映寿会みらい病院”に病院名変更
- 〃 増築棟竣工（改正医療法に対応した療養病床112床が実現）
- H15.12 外来棟改修（診察室、サロン・メイキッスなどの外来棟の全面リニューアルを実施）
- H16. 4 内視鏡センター開設（磨伊正義先生をセンター長に迎える・最新型内視鏡設備導入）
- H16. 8 患者用浴室の整備・改修（チェアインバス2機、寝台式1機）
- H16.11 フルデジタルエックス線透視テレビシステム導入
- H17. 2 病院機能評価認定取得
- H17. 9 2病棟病室改修
- H17.10 地下水浄化プラントシステム（災害時の飲料水確保） 腰椎骨密度測定装置導入
- H17.11 院外処方箋全面発行
- H18. 1 院内情報システム（オーダリングシステム）導入準備委員会設立

# がんの症状

名誉院長・内視鏡センター長

磨伊 正義

痰の中に血が混じった場合は要注意である。がんが進行すると、胸の痛み

「身体が知らせてくれる大切なサインに注意を払うことが早期発見に結びつきます。」

がんという病気は初めのうちは何の症状も伴わない。だから早い時期にみつけるのが難しい。がんがある程度進むと、その「がんが発生した臓器」の本来もつていた働きを損なうことになるのでさまざまな症状が起こる。がんの主な症状として、「しこりがある」、「びらんや潰瘍が治らない」、「出血が続く」、「痛みがある」などが代表的な症状としてあげられる。

起こりうる全ての症状を述べるのは難しいが、以下に述べるのは、あくまで代表的なものである。

まず日本人に多い消化器がんの症状であるが、吐き気、食物の通りが悪い、胸のしみる感じ、お腹

の痛み、黄疸、大便の色が黒い、あるいは血便、お腹の膨満感、最近やせた、などが代表的な症状である。

食物を飲み込むときの胸のつかえる感じ、胸の灼熱感、しみる感じは食道がんの症状である。

胃がんでは消化性潰瘍と同じ症状が多く、上腹部の痛み、吐き気、腹部膨満感などがある。早期がんでは、潰瘍を形成する陥凹性のがんは上腹部痛を訴えることが多いが高齢者では無症状のことが多い。

大腸がんでは最も多いのは血便である。黒色便、貧血、鮮血便などが多く、大腸がんのほとんどが出血に伴うものである。大腸がん検診で便潜血反応検査が行なわれているが、ごく微量の血便を拾い上げようとするものである。

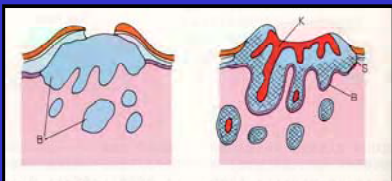
肺がんの症状は、咳、痰、特に

や声がしわがれる嘔声などが出現する。

婦人科がんでは、おりものに血が混じるのが子宮頸がんの重要な症状であり、進行するとリンパ節に転移し、下肢の腫れや浮腫などが生じる。女性の代表的ながんである乳がんは、最近女性がんの死因のトップ三に入っており、今後益々増加が予想される。乳がんは比較的若い三〇代からみられることがあり、四〇代、五〇代が発生

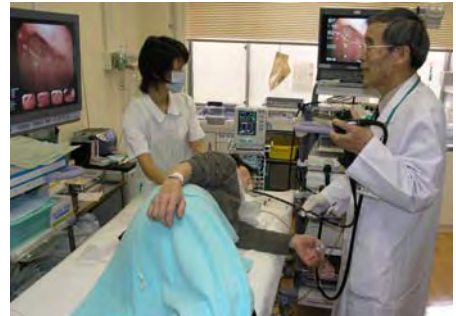
## がんの症状

しこり 乳がん  
出血が続く 大腸がん、肺がん、子宮がん  
びらん・潰瘍が治らない  
胃がん、皮膚がん、舌がん、など  
痛みがある 殆どのがん



## 内視鏡センター

磨伊医師 (日本消化器内視鏡学会指導医)



上腹部の痛み、吐き気、腹部膨満感や血便が認められたら、内視鏡検査で早期発見・早期治療を！

のピークである。乳がんでは自己検診が勧められており、乳房のしこり、乳房の形の変化、左右差、くぼみ、乳房からの分泌物、特に血性の分泌物は要注意である。

自分の健康にあまりにも神経質になり過ぎても人生は楽しくないが、自分の排泄物に注意を払うことは早期発見に結びつく。最も重要なことは、排泄物に血が混じった場合は要注意で、血痰、血便、血尿、血性のおりものなど、身体が知らせてくれる大切なサインなのである。

## リハビリのお話

### 病気になったら、寝たきり防止のリハビリを

医学が進歩した今日でも廃用症候群が問題になっております。肺炎や脳卒中が治っても寝たきり状態になってしまつては楽しい人生は終わりではありません。

発病直後は入院して絶食となり点滴注射など高度な治療が開始されます。ともかく安静にしているのが大事と思われませんが、わずか三日間でもじっと寝たきりで過ごすとは筋肉は衰えます。運が悪いと褥瘡ができたり、沈下性肺炎や膀胱炎による発熱が続発し、そのうちに関節が硬くなって曲がらない拘縮が生じます。自律神経も寝たきりの対応になり、起き上がると血圧が下がり頭の血の流れが悪くなり、めまいを生じるようになります。元の病気は治っても入院期間は次第に長くなり自宅に退院する事が困難になってしまいます。



院長 前田 敏男  
(内科)

このような悲劇にならないように、急性期からリハビリテーションを開始されます。看護師がベッドサイドで体位を交換したり、手足の関節を動かしたり、ベッドにもたれて起き上がらせるのも重要なりハビリの始まりです。病状が落ち着くに従い医師、理学療法士、作業療法士、看護師、薬剤師、管理栄養士、医療ソーシャルワーカーなどが協力して患者さんの自宅退院を目指してその後のリハビリが行われます。

## 院内散歩(部署紹介)

### リハビリテーション部



特に最近是在宅リハビリとか地域リハビリが強く叫ばれております。介護保険制度のおおきな課題でもあります。

医療・福祉が連携して、病気になつても年をとつても快適に過ごせるようになるのがリハビリの目的であります。

当院のリハビリテーション部は、理学療法士4名、作業療法士3名が勤務しています。

入院患者様、外来患者様の身体機能や日常生活動作の能力等の改善を目指して、一同がんばっています。

また、ご自宅で療養中の患者様宅に伺う訪問リハビリテーションも行っております。

リハビリテーションについてのお問い合わせなど、お気軽にご相談下さい。

# 漢方薬は速効性？・遅効性？

治療目的と症状によって、5分程でよく効く速効性の漢方薬もあるし、2カ月後に効果がでてくる漢方薬もあります。

漢方薬は速効性が遅効性かと聞かれる。一言でいえば、治療目的と病状による。こむらがえりには芍薬甘草湯がよく効き、速効性である。これはこむらがえりが起こっているときに飲めばよい。私もこむらがえりがおきた時は、痛い足をひきずって台所まで行き、お湯を沸かし、芍薬甘草湯エキスを一包内服すると五分ほどで治まってくる。芍薬甘草湯は胆石症や尿管結石による痛みにも応用される場合がある。

芍薬（シャクヤク）



シャクヤク（ポタン科）  
根を薬用として用いる。鎮痛、鎮痙、駆瘀血作用がある。薬用種としては一重の白花種を好んで栽培する。

先日、口唇が乾いて割れ、しみて痛いのでリップクリームの塗布でしのいでいる四五歳女性が漢方希望で来院した。漢方的な全体像からして温経湯を投与した。一ヶ月服用しても良くならない。もう一度診察し直したが、やはり温経湯が一番よいと思われたので、良く説明して続けてもらった。二ヶ月後、ようやく唇に潤いが出てきて、その後も続けて内服している。このように、一カ月内服して全く手応えがなくても、漢方的な証を取り直してやはりこれだと思われたら継続していただきその後効果のでてくる場合もある。

ココロと体  
調子はいかが？



ウラルカンゾウ（マメ科）  
かぜ薬、解熱・鎮痛・消炎薬、鎮咳・去痰薬、健胃消化薬、止瀉整腸薬とみなされる処方及びその他の処方に極めて高頻度で配合される。

甘草（カンソウ）



牡丹皮（ポタン）

ポタン（ポタン科）  
観賞用として古くから知られる中国原産の落葉灌木である。根は土中で四方に広がる根皮を牡丹皮と称し、薬用とする。

川芎（センキュウ）



センキュウ（セリ科）  
地下に塊状の根茎を有し、これを湯申し乾燥したものを川芎と呼び、薬用に供する。補血、強壯、鎮静、通経作用があるとされる。

当院では漢方的な証をとり、治療目的に最も適した漢方薬を投与します。

副院長  
(内科・リュウマチ科)  
竹村 修

# 婦人科・女性外来（火・金P.M）を開設いたしました

## 女性と病気

ホルモンの大きな変動の波に飲ま  
れることなく、健康の維持を！

性差医療という言葉をお聞きになつたことはありませんか。近年の研究で婦人科の病気以外に、一般的な内科の病気でも男女の違いがあることがわかってきました。

女性は、一生の間に、ホルモンの大きな変動があり、初経、妊娠、出産、授乳、閉経に沿って、身体の変化が起こります。紀元前二〇〇年頃に著された漢方医学の古医書（黄帝内経素問、上古天真論篇）に次のような七歳ごとの女性の身体の変化について記載があります。簡単に現代語訳をいたしますと、

「七歳、腎気が盛んになり、歯が生え変わり、髪が長くなる。一四才、月経が始まり、妊娠が可能になる。二一才、体格が頂点に達する。二八歳、筋肉が引き締まり、髪は長く豊かになり、身体は充実

する。三五才、容色が衰え始め、髪は抜け始める。四二才、顔はしわが増えて、白髪が始める。四九才、生殖能力がなくなり、閉経となる。「このように、女性の变化はホルモンの変化により引き起こされ、初潮の年齢が少し早まっていること以外は二〇〇年以上も前から現代まで、ほぼ変わりが見られません。

しかし、「人生五十年」の時代と比べ、平均寿命八四歳の現代では、閉経後の人生が非常に長くなります。更年期症状や、閉経後急速に進む骨粗鬆症、高コレステロール血症、高血圧、動脈硬化症などが問題となってきました。また、近年女性のライフスタイルも大きく変化しています。進学、就職する女性が増え、晩婚化、少子化が進んできています。また過度のストレスなどにより、ホルモンのバランスが変化し、月経不順や無月経、子宮内膜症、不妊症また子宮癌や

婦人科 土屋 百合



一月から新たに、婦人科外来を行っています。気軽に受診してください。

乳癌などが増加しています。その他にもストレスが関係して、抑うつ、摂食障害、心身症などが増えてきています。

現代のストレス社会において、ホルモンの大きな変動の波に飲まれることなく、健康を維持していきたいものです。

美しく健康な女性のための  
Relaxation Salon

『CARRE』(東洋医学臨床研究所)

劉 園英

食欲がない、毎日がだるい、疲れやすい、冷え性、便秘、子宝に恵まれないなどの悩みを持っている女性が現在増えています。このような症状は漢方的には未病段階となり放置しておくことと疾病になると考えられています。

東洋医学は「未病を治す」が基本です。私の専門は東洋医学。私にできることは、東洋医学の知恵を利用して、心と体の不調を解消するために皆さんと共に取り組むことです。

近日開業するリラクゼーションサロン「CARRE」では、この東洋医学のチカラを活用して、ひとりでも多くの女性の皆さんに力強く生きる勇氣を見つけて差し上げたいと思います。

Dr. Liu

劉園英 (りゅうえんえい) 先生  
北陸大学薬学部東洋医薬学講師



1959年、中国北京市生まれ。北京中医薬大卒。北陸大学薬学部東洋医薬学教室講師。東洋医学臨床研究所客員研究員、在日中国科学技術者職盟医学と薬学協会理事。映寿会みらい病院漢方アドバイザー。

## 平成18年 糖尿病教室予定

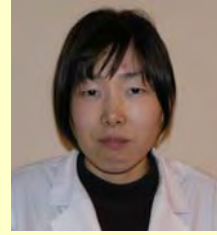
1月14日(土)	午前11時～12時
2月18日(土)	午前11時～12時
3月11日(土)	午前11時～12時
4月8日(土)	午前11時～12時

\* 場所/当院外来 サロン「メイ・キッス」

### ～栄養指導部からのお知らせ～

新年を迎え、お正月・新年会など人が集まり飲食の機会も多いと思いますが、コントロールを乱さないように、注意しましょう。

平成18年の糖尿病教室の予定です。2月は第2土曜日が祭日のため第3土曜日になっています。



管理栄養士  
宮下 一美

## 金沢お年寄り介護相談センターからのお知らせ

### 介護予防教室のご案内

金沢お年寄り介護相談センターは、金沢市の委託を受けて中学校下に1ヶ所の割合で設置されています。

「相談センター映寿会」は金石・大野地域を「相談センターたいよう」は鞍月・粟崎地域を担当しています。

高齢者の在宅生活について相談にのる一方、介護予防の観点から各種介護予防教室を開催しています。

関心のある方は、お気軽にお立ち寄り下さい！（参加無料）。

TOPICS  
&  
NEWS

### ～「相談センター映寿会」より～



社会福祉士  
加藤 美千代



看護師  
池本 明子

【問い合わせ】金沢お年寄り介護相談センター映寿会  
TEL 2377・8063

～住まいの安全づくり～  
・3月15日(水)「転倒予防シリーズ②」  
～健脚づくり体操～  
・1月18日(水)「紙細工をたのしみましょう！」  
・2月15日(水)「転倒予防シリーズ①」

◆金石・大野地域では、次の3会場で介護予防教室を開催しています。  
●松寿荘(第1水曜) ●金石町公民館(第2木曜)  
●金石あけぼの会館(第3水曜)  
◇金石あけぼの会館(金石東3-8-20)での教室予定◇

### ～「相談センターたいよう」より～



社会福祉士  
木村 佳乃



看護師長  
上出 愛子

【問い合わせ】金沢お年寄り介護相談センターたいよう  
TEL 2377・2845

■各地域サロンの日時及び開催場所等の詳細については相談センターたいようまでお問い合わせ下さい。

■内容としては、「生活の中のリハビリ」や、「体と頭のストレッチ」「低栄養を防ぐ」などです。

鞍月・粟崎地域では、各地域サロンの場をお借りして介護予防教室を開催しています。

理念

人が心身ともに健康で楽しく長生きできるよう手助けをする

基本方針

- 1. 医療を受ける人々の権利の尊重**  
医療を受けるすべての人々の生命・尊厳・人権を尊重する
- 2. 質の高い医療の普及**  
西洋医学・東洋医学を結集し、科学的且つ質の高い医療の普及に努力する
- 3. 最善の治療へのたゆまぬ努力**  
常に医療の研鑽、向上に努め一人一人の個性を尊重した最善の治療を行う
- 4. 地域医療、福祉との連携**  
生活習慣病および高齢者医療に重点を置き、地域の医療福祉機関と連携する
- 5. 地域社会への貢献**  
社会的責任を自覚し、地域とそこに暮らす人々の幸福のために貢献する
- 6. 教育と研修の充実**  
医療に関する教育・研修を充実させ、職員が誇りと生きがいを持てる職場とする

総合的な健康づくりをお手伝い

医療法人社団 映寿会みらい病院



診療科目

内科・外科・神経内科・リハビリテーション科・循環器科・放射線科・消化器科・肛門科・泌尿器科・呼吸器科・皮膚科・アレルギー科・婦人科・リウマチ科・東洋医学診療科・内視鏡センター・健診科

診療時間

月～金 ■午前9時～午後5時  
(受付/午前8時50分～12時・午後1時30分～4時45分)  
土 ■午前9時～午後3時  
(受付/午前8時50分～12時・午後1時30分～2時45分)

病床数

150床 (一般病床38、療養病床112)

金沢市鞍月東1丁目9番地

TEL(076)237-8000 FAX(076)238-7624

ホームページ <http://www.eijukai.jp/>

映寿会みらい病院の情報が満載です。ぜひアクセスしてみてください。

ご案内図

